

2月定例市長記者会見及び予算記者会見次第

日時：平成29年2月14日(火) 午後0時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 情報提供

(1) 市長話題提供

- ① 人口移動報告（総務省発表）について 【企画政策課】資料1-1
- ② ICTを活用したまちづくりの推進について 【IT政策課】資料1-2
 - ・プログラミング教育推進のための人型ロボット「Pepper」導入について 【学校教育課】資料1-3

(2) 報告事項（各課から）

- ① 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における掛川市の結果について 【学校教育課】資料2-1

(3) 主な行事について

- ① 協働によるまちづくり活動発表会 【生涯学習協働推進社会教育課】資料3-1
と き：2月16日（木）13:30～
ところ：文化会館シオーネ大ホール
- ② 第8回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会 【社会教育課】
と き：2月17日（金）～19日（日）
ところ：東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」
- ③ 第12回掛川市社会福祉大会 【福祉課】
記念講演「みんなの幸せをつなぐ福祉のまちづくり」
講師：愛知教育大学名誉教授 増田樹郎氏
と き：2月18日（土）13:00～16:00
ところ：掛川市生涯学習センター ホール
- ④ 平成28年度はばたけ未来の吉岡彌生賞表彰式 【教育政策室】
と き：2月19日（日）13:30～
ところ：東京女子医科大学大東キャンパス 大教室
- ⑤ みんな一緒のまちづくり～みんなで差別について話し合おう～ 【福祉課】資料3-2
と き：2月25日（土）13:00～17:00
ところ：掛川市役所4階会議室1
講演「障害者差別解消法とは」13:30～14:30
講師：大阪経済法科大学 一木玲子氏
- ⑥ 男女共同参画社会づくり宣言事業所情報交換会 【生涯学習協働推進社会教育課】資料3-3
と き：2月28日（火）13:30～
ところ：掛川市役所4階会議室1
講演：「テレワーク講演会」13:30～15:00
講師：株式会社テレワークマネジメント 鶴澤純子氏
事業所情報交換会 15:00～16:00
- ⑦ 大坂小学校屋内運動場改築工事落成式 【学務課】
と き：3月1日（水）13:00～14:30
ところ：大坂小学校敷地内

- ⑧ 掛川市民学舎卒業式&成果発表会 【生涯学習協働推進社会教育課】
と き：3月11日（土）8:45～11:00
ところ：掛川市役所4階会議室1
- ⑨ 特別医療講演会 【地域医療推進課】資料3-4
演題：「前立腺がんに立ち向かう最新鋭の手術支援ロボット（ダヴィンチ）について」
と き：3月11日（土）10:00～12:00
ところ：中東遠総合医療センター 3階大会議室
- ⑩ 大須賀第二分団消防センター落成式 【消防総務課】
と き：3月11日（土）10:00～
ところ：とうもんの里北側付近
- ⑪ 平成28年度掛川市津波避難訓練 【危機管理課】資料3-5
と き：3月12日（日）9:00～10:30
ところ：南部津波浸水域
- ⑫ 「平和を考える自由研究」優秀者表彰式 【企画政策課】
と き：3月13日（月）17:30～
ところ：掛川市役所4階会議室1C
- ⑬ 第17回医療市民講座 【地域医療推進課】資料3-6
◆「あなたのめまいはどんなめまい？～内耳性めまいを中心に～」
講師：耳鼻いんこう科部長 泉智沙子医師
◆「乳がんについて」
講師：外科部長 松葉秀基医師
と き：3月18日（土）10:00～12:00
ところ：中東遠総合医療センター 3階大会議室

3 議会日程

2月定例会 2月21日（火）～3月22日（水）

4 質疑応答（進行：幹事社 静岡朝日テレビ・毎日新聞）

5 閉 会

次回定例市長記者会見 3月6日（月） 午前9時30分～ 庁議室

総務省 住民基本台帳人口移動報告 平成28年(2016年)結果より 年齢(5歳階級)別転入超過数

定例記者会見
平成29年2月14日
企画政策課
日本人移動者 ※ 総数には年齢不詳を含む。

	転入超過数 (－は転出超過)																			
	総数	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上
22 静岡県	-6,390	-146	-347	-148	-1,916	-2,827	-604	-359	-287	-247	-180	-164	77	256	238	121	33	55	35	21
100 静岡市	-811	-53	-76	-34	-84	-373	10	-38	23	-81	-55	-67	13	12	-13	-18	-2	30	-2	-3
101 葵区	-267	-22	28	4	-197	-47	27	-45	22	15	-25	-42	12	7	5	-7	-11	10	2	-3
102 駿河区	-45	-60	-90	-43	99	29	113	28	-23	-96	-43	-1	1	-9	-10	5	13	26	8	8
103 清水区	-499	29	-14	5	14	-355	-130	-21	24	0	13	-24	0	14	-8	-16	-4	-6	-12	-8
130 浜松市	-606	-86	-23	20	-327	-275	-123	-22	-10	-25	14	5	19	66	57	32	14	5	38	15
131 中区	-294	-149	11	-11	1	125	28	-111	-82	10	-1	22	-57	-11	4	-14	-2	-12	-24	-21
132 東区	1	-67	-65	7	-57	17	80	24	-24	33	4	9	15	9	0	-3	-5	5	16	3
133 西区	-259	-33	-34	3	-54	-80	-113	10	-42	-41	-10	-28	12	24	24	24	29	3	27	20
134 南区	-316	-57	-7	6	-63	-42	38	-62	15	-48	0	-25	-5	-19	-8	-12	-23	-3	-2	1
135 北区	-103	57	6	1	-96	-180	-122	13	44	6	0	0	27	23	-3	27	16	35	31	12
136 浜北區	655	144	63	18	-31	-23	40	129	98	23	33	34	15	37	40	13	16	-5	6	5
137 天竜区	-290	19	3	-4	-27	-92	-74	-25	-19	-8	-12	-7	12	3	0	-3	-17	-18	-16	-5
203 沼津市	-869	-79	-26	-5	-124	-235	-126	-143	-61	-9	-23	-24	9	16	-14	7	3	-13	-6	-16
205 熱海市	166	-13	-10	-9	32	-53	-34	-21	1	10	19	32	20	47	45	52	32	10	3	3
206 三島市	66	41	55	7	-37	-202	45	12	34	57	7	-5	6	-35	-1	12	10	23	26	11
207 富士宮市	-89	39	10	13	-141	-114	-30	-1	24	6	37	1	3	35	8	16	2	6	3	-6
208 伊東市	-124	-20	-8	-14	-123	-127	-19	-11	-5	-32	5	2	33	106	81	26	2	-19	-7	6
209 島田市	-117	56	7	-15	-56	-137	-7	37	13	-13	-17	6	4	-10	7	14	5	-16	-4	9
210 富士市	-617	21	-11	-19	-178	-309	-45	55	-21	-7	-58	-12	-30	-12	-6	4	6	-2	8	-1
211 磐田市	-207	66	5	1	-96	22	-93	-50	-33	-36	-12	9	-3	-13	2	1	7	11	4	1
212 焼津市	-431	-4	-6	-17	-125	-167	-99	-22	-19	22	-1	3	-18	1	12	9	-3	-3	-3	9
213 掛川市	128	101	3	2	-64	-57	33	24	39	67	8	-2	-3	-2	-11	-2	-11	10	0	-7
214 藤枝市	65	114	18	16	-141	-137	-40	63	49	23	13	10	20	38	15	-8	-11	14	5	4
215 御殿場市	-430	-77	-80	-18	38	-45	64	-92	-111	-68	-45	-23	-10	-4	3	7	5	12	7	8
216 袋井市	-165	-102	-32	6	-61	24	73	2	-58	-20	-6	-15	15	-16	7	11	-1	9	-4	3
219 下田市	-170	0	-18	5	-50	-41	-19	-2	-17	-24	2	-4	2	13	5	-5	-9	-2	-2	-4
220 裾野市	-372	-45	-28	-12	-26	-32	26	-38	-60	-38	-45	-21	-20	-24	8	-4	-9	-8	7	-3
221 湖西市	-246	-35	-10	-10	-67	3	-51	-9	-18	-11	2	-16	-15	4	2	2	-4	-1	-9	-3
222 伊豆市	-206	11	5	-1	-25	-95	-75	-9	10	7	-2	-2	-2	16	-4	-8	-5	-12	-10	-5
223 御前崎市	-120	-5	-12	-6	-13	-33	-42	-21	0	-9	-2	1	7	4	2	-2	3	1	5	2
224 菊川市	-81	-12	-7	-6	-28	-32	37	-6	23	-17	-13	-18	1	-3	-2	-6	5	-3	0	6
225 伊豆の国市	-73	13	-1	-4	-54	-77	-34	0	-2	4	5	-6	7	24	19	12	-2	17	3	3
226 牧之原市	-344	-1	2	-13	-49	-25	-92	-44	-33	-8	-20	-4	-1	-24	-11	-4	-4	-4	-4	-5
300 賀茂郡	-239	9	-5	-23	-85	-89	-43	-1	-21	-7	-5	7	19	17	19	-8	3	-6	-17	-3
301 東伊豆町	-108	5	-2	-8	-37	-29	-27	-16	-11	-6	-6	1	3	5	20	-7	5	4	-3	1
302 河津町	-18	-4	4	-2	-11	-15	10	6	-7	-4	1	-1	2	7	1	4	-4	4	-1	0
304 南伊豆町	19	5	-1	-3	-6	-16	-4	7	8	5	2	4	11	4	3	2	3	1	-6	0
305 松崎町	-66	-4	-4	-8	-16	-17	-7	-8	-8	-5	3	3	-2	3	5	1	0	-1	-1	0
306 西伊豆町	-66	7	-2	-2	-15	-12	-15	10	-3	3	-5	0	5	-2	-10	-8	-1	-6	-6	-4
320 田方郡	-45	6	3	10	-10	-91	-1	3	13	-16	5	22	12	16	-1	-11	-9	5	-4	3
325 函南町	-45	6	3	10	-10	-91	-1	3	13	-16	5	22	12	16	-1	-11	-9	5	-4	3
340 駿東郡	-76	-37	-74	-23	19	-49	162	31	-27	-31	-1	-39	-8	-22	8	-5	4	7	2	7
341 清水町	51	-5	-16	-7	-34	-4	53	21	5	21	0	-13	3	7	7	-2	4	5	2	4
342 長泉町	34	-48	-27	7	14	-5	129	5	-12	-21	29	-13	-10	-26	3	-2	0	4	3	4
344 小山町	-161	16	-31	-23	39	-40	-20	5	-20	-31	-30	-13	-1	-3	-2	-1	0	-2	-3	-1
420 榛原郡	-232	-58	-24	2	-17	-52	-25	-42	-5	9	-1	-5	-1	6	-1	2	4	-10	-6	-8
424 吉田町	-157	-53	-23	3	-18	-35	-11	-29	2	12	-2	-6	1	3	2	3	4	-3	-2	-5
429 川根本町	-75	-5	-1	-1	1	-17	-14	-13	-7	-3	1	1	-2	3	-3	-1	0	-7	-4	-3
460 周智郡	-145	4	-4	-1	-24	-29	-56	-14	-15	0	9	1	-2	0	2	-5	-2	-6	2	-5
461 森町	-145	4	-4	-1	-24	-29	-56	-14	-15	0	9	1	-2	0	2	-5	-2	-6	2	-5

■掛川市の転入超過の要因分析等について

- ・年齢階級別にみると、0～4歳及び25～44歳までの世代が突出して増加しており、子育て世代が多く転入してきていると推測される。
→要因として、①温暖な気候と海・山・川などの豊かな自然環境が子育て環境に適している。 ②報徳の考え方が根付く市民力の高さにより市民の人がらが良い。
③新幹線掛川駅や東名掛川ICなどにより交通アクセスが良い。 ④交通条件の良い場所としては比較的地価が手頃で、子育て世代にも購入が可能。
⑤ゆったり子育て三世同居応援事業や認定子ども園施設の建設等、子育て施策が充実し始めている。 などが考えられる。
- ・逆に15～24歳までの世代は転出超過となっている。これは、高等学校卒業後の他県への進学・就職によるものが大きいと推測される。

I C Tを活用したまちづくりの推進

1 I C T社会の現状と今後の方向性

I C Tの急激な進化は、スマートフォン、タブレット端末、ソーシャルメディア、クラウド等の普及により、ライフスタイル、ワークスタイルの幅広い場面において変化がもたらされています。様々な分野におけるI C T利活用も大きく変わり、従来活用があまり進んでいなかった医療、農業、教育分野等において、その取り組みが進みつつあります。

その取り組みにおいて、あらゆるモノがインターネットにつながる「IoT」と、ビッグデータの解析からの確にアウトプットを行う「人工知能（AI）」がその主流になると考えられます。

近い将来、自動車の完全自動運転や、医療での人工知能による最適な診断、I C Tによる労働力不足を補い、効率的かつ高い生産性の農業等が可能になると予想されており、あらゆる分野においてIoTと人工知能の導入が進められることで、ライフスタイル、ワークスタイルにもさらに大きな影響を及ぼすものと考えられます。

2 掛川市の状況

掛川市では、地域の活性化、教育や農業、観光など様々な分野における質の向上等を実現するため、以下のようなI C Tを活用した取り組みを進めています。

また、様々な分野においてI C T活用推進を図るため、平成26年にNTT西日本静岡支店と締結した「I C Tの利活用による協働のまちづくり包括連携協定」を基に、今後、研究並びに実証実験を進めていきたいと考えております。

さらに、オープンデータ推進においても、行政データのみならず、市民や企業の保有するデータについても公開を促し、官民協働によるデータ公開を推進することで、地域経済の活性化を図ってまいります。

[主な取り組み]

項目	概要
プログラミング教育推進のための人型ロボット「Pepper」導入 [別添「資料1-3」参照]	2020年からの小学校でのプログラミング教育の必修化に備え、市内全中学校と小学校2校に人型ロボット「Pepper」を導入し、プログラミング教育を推進する。
「対話型人工知能による新しい子育て情報サービス」の試行・実証	昨年9月に株式会社三菱総合研究所とともに「対話型人工知能による新しい子育て情報サービス」の実証実験を行い、人工知能がどのような自治体業務に活かせるのか、効率化が図られ、どのような効果が期待できるのかについて、その結果を検証する。

項目	概要
官民協働による公衆無線LANの整備（掛川市公衆無線LAN推進協議会）	観光振興や地域活性化等を目的に、官民協働により公衆無線LANの整備を行う。
統合環境制御システム「低コスト耐候性ハウス」によるトマト栽培	<p>「低コスト耐候性ハウス」により、温度、湿度、二酸化炭素などを作物に適した状態に自動的に制御し、季節に応じた最適な環境をつくる。</p> <p>外気象センサーやハウス内センサーにより年間を通してデータをパソコンに蓄積。最適な環境条件にするため、天窓や暖房機などの各種機器を効率的に作動するシステムである。</p>
オープンデータの推進 オープンデータデイの開催	<p>行政が保有するデータを誰もが自由に使えるようオープンデータとして公開を推進している。</p> <p>このようなデータを活用することで、地域課題の解決、生活の利便性向上等を目指していけるような情報交換や議論の場であるオープンデータデイも開催している。</p>

（担当者名 戸塚芳之
電 話 21-1341）

定例記者会見
平成29年2月14日
学校教育課

プログラミング教育推進のための 人型ロボット「Pepper」導入について

【事業概要】

これからの社会は、「第4次産業革命」ともいわれている。進化した人工知能が医療等の場面で様々な判断を行ったり、自動車の自動運転が始まったり、安価なロボットが家庭の中に入ってきたり、IoT（モノのインターネット）のことが大きな話題になったりするなど、社会の在り方が大きく変わると予測されている。

文部科学省の設置している中央教育審議会が取りまとめた「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」（平成28年8月26日）では、将来どのような職業に就くとしても、プログラミング教育が必要であり、発達段階に応じて位置付けていくことを求めている。

掛川市教育委員会では、「かけがわ学力向上ものがたり」とおして「かけがわ型スキル」を身に付ける学力向上策を進めてきた。その1つとして、授業におけるICT活用を研究してきており、子どもたちの思考力等を育み、情報の選択・活用力を一層高めるため、プログラミング教育を推進していきたいと考えた。

そこで、ソフトバンク株式会社の「Pepper社会貢献プログラム『スクールチャレンジ』」へ応募したところ、全国で17自治体が採択され、その中に掛川市が選ばれた。今後、掛川市内全中学校及び第二小学校、曾我小学校において、3年間貸与される「Pepper」を活用して、次期学習指導要領に必須化されるプログラミング教育を推進していく。

【事業目的】

- ・身近なものにコンピュータが内蔵され、プログラミングの働きにより生活の便利さや豊かさをもたらされていることについて理解する。
- ・子どもたちに、コンピュータに意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、問題解決力や論理的思考力、情報の選択・活用力等を育成する。

【期待される効果】

- ・学校から地域へ「Pepper」を使って情報発信することにより、市民の情報や科学技術についての興味や関心が高まる。

【「Pepper社会貢献プログラム『スクールチャレンジ』」採択自治体】

北海道西天北五町連合 福島県南相馬市 栃木県下野市 東京都港区 東京都町田市
東京都狛江市 岐阜県岐阜市 静岡県藤枝市 静岡県掛川市 愛知県一宮市
滋賀県草津市 大阪府池田市 兵庫県神河町 和歌山県かつらぎ町 岡山県新見市
福岡県飯塚市 佐賀県武雄市

【導入機器】（導入する11小中学校合算）

・「Pepper」	7 2 台
・「Choregraphe（プログラミングソフト）用PC」	7 2 台
・「モバイル Wifi」	3 3 台

【プログラミング教育の内容】

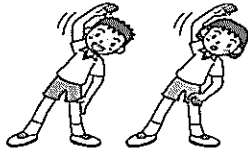
- ・プログラミング授業を年間6時間程度実施。
- ・掛川市「Pepper」プログラムコンテスト（仮称）を実施し、優勝チームは全国大会に参加。

【年間スケジュール】

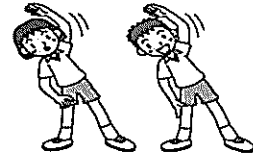
1月20日	先行導入校（掛川市立北中学校）「Pepper」借用
1月25日	導入自治体報道発表（東京：ソフトバンク本社）
2月10日	「Pepper」導入検討委員会 参加者：静岡大学教授 導入校教員 掛川市教育委員会 内 容：カリキュラム等の検討等
2月24日	「Pepper」導入事前研修会（掛川市立北中学校） 参加者：導入校教員 掛川市教育委員会 内 容：「Pepper」を使った授業研究 「Choregraphe」の使い方研修
3月中旬から	「Pepper」等の機器配置
3月下旬～5月	導入校集合研修（ソフトバンク社による）
5月中旬頃から	運用開始

担当者名 横井和好 電話番号 21-1156

平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査



かけがわの子どもたち



掛川市教育委員会

掛川市では、『教育大綱かけがわ』の中で、子どもたちの目指す姿の一つとして「豊かな心や健やかな体に高めていくひと」とし、健康教育と体力・たくましさの育成に重点を置いています。

本年度実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査について、掛川市の集計結果をお知らせします。全国平均・県平均を 100 とし、指標値により示しました。



実技に関する調査結果

【小学校5年男子】

※持久走と 50m 走については、タイムの速い方が良い結果であるため、数値を逆にして計算しています。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	100	99	98	103	110	100	100	106	102
県比較	101	99	102	102	107	100	99	111	102

【小学校5年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	99	97	98	103	105	100	101	109	101
県比較	100	97	100	102	99	99	100	106	100

【中学校2年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	95	103	106	103	103	102	100	101	102
県比較	96	101	104	101	101	101	98	99	101

【中学校2年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	99	105	102	102	103	101	103	104	104
県比較	99	103	99	100	100	100	99	100	100



調査結果全体から見えてきたこと

- 運動能力の4/5種目（反復横跳び、シャトルラン（持久走）、立ち幅跳び、ボール投げ）において、小5・中2ともに男女どちらも全国平均を上回っており、掛川市内の子どもたちの運動能力は全体的に見て高い（3年連続）。
- 掛川市では、県で課題とされているボール投げの結果において、小5、中2の男女ともに全国平均を上回った（3年連続）。
- 児童生徒に対する質問紙調査では、「中学校に進んだら（中学校卒業後）、自主的に運動やスポーツの時間を持ちたいと思う」と答えた児童生徒の割合が、小5、中2の男女すべてで全国や県を上回っており、運動することを大切だと考えている子どもが多い。
- 一週間の総運動時間（月～日）は、小5男女、中2男は全国や県を上回っている。中2女子も全国は上回っている。掛川市の子どもたちは、日常的に運動する習慣があると考えられる。
- 「体育（保健体育）の授業が楽しい・やや楽しい」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべて全国を上回った。特に小5の男女は全体の90%を超えていた。掛川市では、子どもたちにとって体育（保健体育）の授業が充実したものになっている（2年連続）。
- △「握力」において、小5女と中2男女で全国・県の平均値に届かなかった。
- △「上体起こし」において、小5の男女ともに全国・県の平均値に届かなかった。

体力の高い子 かけかわの法則

「実技に関する調査」と「質問紙調査」の相関関係を分析すると、次のような子どもの体力合計点が高い傾向にあります。

- ①運動が好き・大切である（小学校5年男女、中学校2年男女）。
- ②毎日決まった時間に朝食・夕食を食べる（小学校5年男女）。
- ③平日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間が1時間未満（中学校2年男女）。
- ④保健体育の授業で、振り返る活動を行っている（中学校2年男女）。
- ⑤体育の授業で、友達と助け合ったり、話合ったりするような活動を行っている（小学校5年男女）。
- ⑥失敗を恐れずに挑戦する（小学校5年男女、中学校2年男女）。

今後に向けて

掛川市の子どもたちは、例年と同じく運動好きな子どもが多く、運動時間も確保されて、運動能力も高い結果となりました。今後も、運動能力の向上に努めるとともに、筋力や柔軟性にも対応できるように、まずは、幼稚園ですすめているアクティブチャイルドプログラムを継続して小学校低学年ですすめ、家庭も巻き込んで取り組んでいきます。さらに、小学校中・高学年では多様な遊びや運動を取り入れ、中学校では筋力トレーニングのような補強運動を継続的に行い、発達段階に応じた指導の充実に努め、小学校は中学校へ、中学校は高校（社会）へと筋力や柔軟性の向上につなげていくため、それぞれの段階で確実に体力づくりをし、次のステップへつなげていきます。今後も、地域の特色や子どもたちのニーズに合わせた効果的な取組を推進し、子どもたちが自主的に「豊かな心や健やかな体に高めていくひと」を目指せるよう、健康教育と体力・たくましさの育成に力を注いでいきます。



定例記者会見
平成29年2月14日
生涯学習協働推進課

協働によるまちづくり活動発表会の開催について

市民、地縁団体、市民活動団体、企業など地域社会を支える様々な構成員によるまちづくりの活動事例を広く紹介することで、協働によるまちづくりに対する機運の向上と新たな気づき、つながりをつくることを目的として、協働によるまちづくり活動発表会を下記のとおり開催します。

日 時 2月16日(木)午後1時30分開始

会 場 文化会館シオーネ

内 容 (1)まちづくり活動の発表

・地区まちづくり協議会(4団体)、市民活動団体(2団体)、企業(1社)
計7団体を予定

(2)発表に対する賞賛及びアドバイス

・各団体が達成感を感じ、さらなる活動に向けた意欲が高まるようなアドバイスをいただきます。

◆アドバイザー

①日詰一幸氏(静岡大学人文社会科学部教授)

②川端務夢氏(掛川市協働によるまちづくりアドバイザー)

③高木敦子氏(静岡県地域づくりアドバイザー)

④千野和子氏(公益財団法人ふじのくに未来財団 副代表理事)

担当者名 佐藤 高・梅田知孝
電話番号 21-1129

みんな一緒にのまちづくり

～みんなで差別について話し合おう～

平成28年4月から障害者差別解消法がスタートしました。障がいのある人もない人も、誰もが働き、学び、活躍できるまちにするためにはどうしたら良いか、一緒に考えてみませんか？

日時 平成29年 **2**月 **25**日(土)13時～17時

場所 掛川市役所 4階 会議室 1

対象 どなたでも参加できます。※手話通訳、要約筆記、点字資料をご用意します。

定員 70名 ※先着順

プログラム

- 12:30～ 受付
- 13:00～13:30 開会
- 13:30～14:30 講演「障害者差別解消法とは」
講師 大阪経済法科大学 一木玲子氏
- 14:30～14:45 報告「(仮称)静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例(素案)について」
報告者 静岡県条例づくりの会 事務局長 大川速巴氏
- 14:45～15:00 休憩
- 15:00～16:30 ワークショップ「差別解消の方法を話し合おう」
- 16:30～17:00 まとめ 閉会

申込み 1月31日(火)締切 ※下記申込書にご記入の上、お申し込みください。

主催 みんな一緒にのまちづくり実行委員会

共催 掛川市、掛川市社会福祉協議会、掛川市民まちづくり学士会

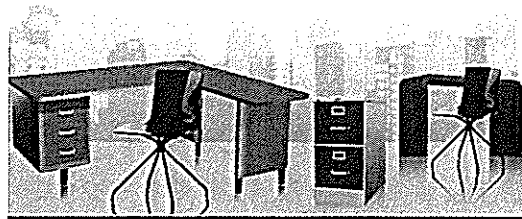
問合せ・申込み先 みんな一緒にのまちづくり実行委員会 委員長 横山博則

電話 090-3307-2927 FAX 0537-24-5333

メール yokoyama.hironori@jade.plala.or.jp

申込書		※該当事項には○をお願いします。	
氏名	連絡先		
所属先	配慮事項	手話通訳・要約筆記・点字資料	その他()
障がい種別	身体・知的・視覚・聴覚・精神・発達・内部疾患・その他()		

テレワーク講演会



新しい働き方！

“テレワークを利用したワーク・ライフ・バランス”

2月28日(火) PM1:30~3:00

会場:掛川市役所4F会議室 (開場 1:00)

講師:鵜澤純子氏 (株式会社テレワークマネジメント)

参加費:無料

対象:興味のある方はどなたでも

主催:掛川市

～テレワークにはワーク・ライフ・バランス改善、生産性向上などの多くの効果があることから、政府はテレワークを推進しています。本講演会では、中小事業者向けに比較的低コストで取り組めるテレワークについて具体的な手法などについてお伝えします。～



●申込方法

電話、FAX または Eメールで申し込み

1.セミナー名 2.氏名(個人名または会社名)3.郵便番号・住所・電話番号

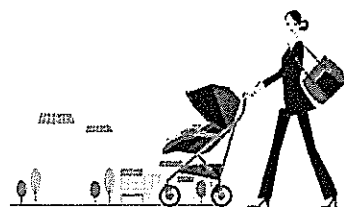
●申し込み・問い合わせ先

〒436-8650 掛川市長谷1-1-1

掛川市役所 生涯学習協働推進課 男女協働係

TEL 0537(21)1129 FAX 0537(21)1165

Eメール:kyodo@city.kakegawa.shizuoka.jp

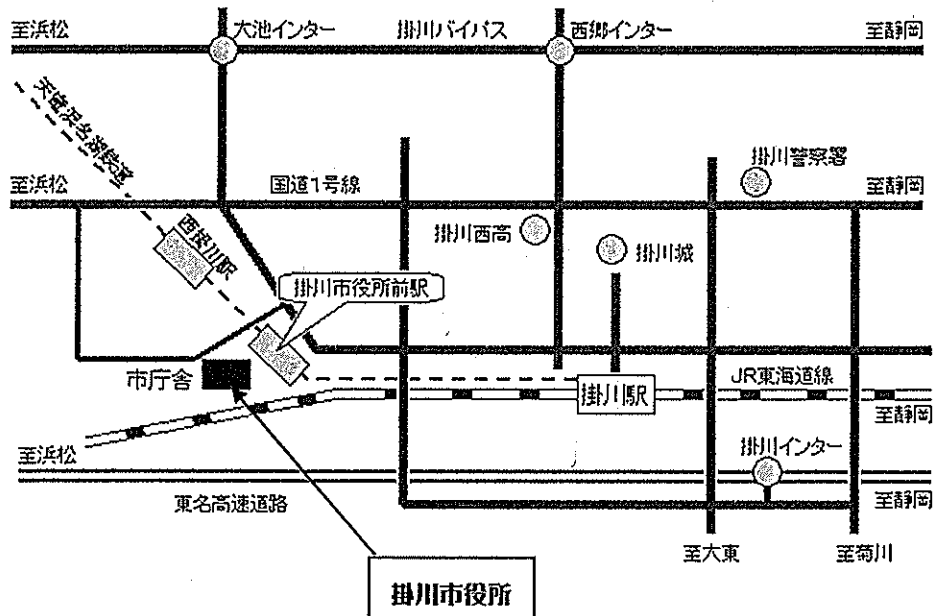


『講師プロフィール』

鷗澤純子 氏(うざわ じゅんこ)

(株)テレワークマネジメントマネージャー・ITコーディネータ/シニアテレワークコンサルタント

長女の出産を機に前職を退職。専業主婦を経て、2002年にフリーランスの在宅ワーカーとして(株)ワイススタッフに登録。その後在宅で、マーケティング、調査、プロモーション等を経験し、2011年より現職。週5完全在宅を基本とする働き方で、テレワーク導入支援のコンサルタントチームのマネージャーとして、全国各地を訪問中。総務省・厚生労働省等のテレワーク事業で40社以上の導入を担当。テレワークに関する講演も多数おこなっている。



「テレワーク講演会」参加申込書

(生涯学習協働推進課 男女協働係宛 :FAX 0537-21-1165)

住所 〒

氏名(個人名または会社名)

電話番号

定例記者会見
平成29年2月14日
地域医療推進課

中東遠総合医療センター 特別医療講演会の開催について

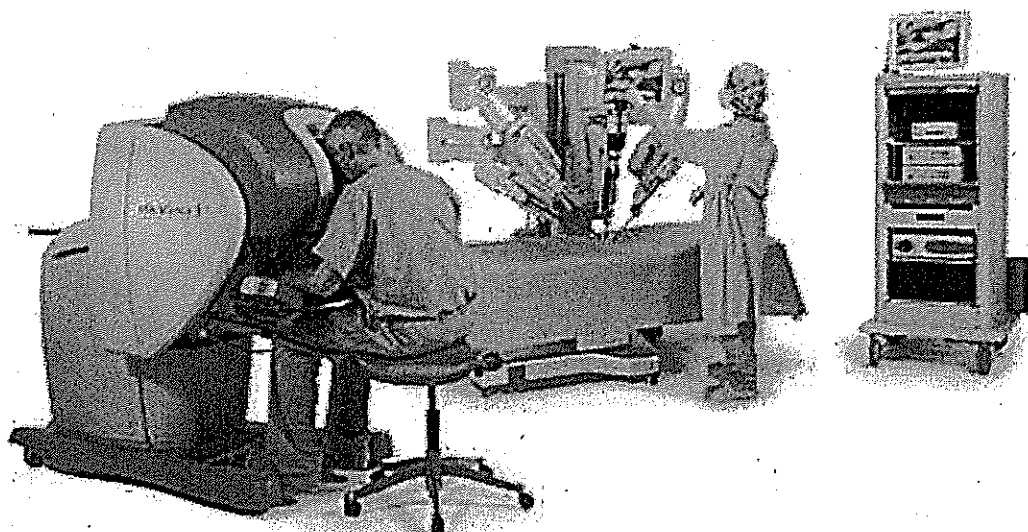
最新鋭の手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入に伴い、下記のとおり開催されます。

記

- 1 目的 掛川市・袋井市など中東遠地域の皆様に、最新鋭の手術支援ロボット「ダヴィンチ」の機能及び前立腺がん治療の有用性などについて紹介するとともに、「ダヴィンチ」導入に伴う医療の進歩を身近に感じていただくため。
- 2 概要 浜松医科大学泌尿器科学講座の三宅准教授が、「ダヴィンチ」についてわかりやすく解説します。
また、「ダヴィンチ」実機を展示予定です。
- 3 日時 3月11日（土）午前10時～正午
- 4 会場 中東遠総合医療センター 3階大会議室（掛川市菖蒲ヶ池1-1）
- 5 内容 演題「前立腺がんに立ち向かう最新鋭の手術支援ロボット（ダヴィンチ）について～」
講師 三宅 秀明 医師（浜松医科大学 泌尿器科学講座准教授）
- 6 その他 どなたでも参加可、入場無料、事前申込不要。
別添のチラシもご参照ください。

問合せ先：中東遠総合医療センター
経営戦略室 鈴木寿昌・渡邊江里
電話番号 28-8920 (直通)

前立腺がん に立ち向かう 最新鋭 の手術支援ロボット ダヴィンチ について



日時

平成29年 **3月11** 日 (土) 10:00~12:00

会場

中東遠総合医療センター
3階大会議室 (掛川市菖蒲ヶ池1-1)

講師



浜松医科大学 泌尿器科学講座
三宅 秀明 准教授

**入場
無料**

事前のお申込みは不要です。
お気軽にご参加ください。

お問い合わせ

中東遠総合医療センター 経営戦略室
☎0537-21-5555(代)

定例記者会見
平成29年2月14日
危機管理課

平成28年度 掛川市津波避難訓練について

統一スローガン 地震だ、津波だ、すぐ避難！～少しでも早く、少しでも高く～

1 趣旨

津波の浸水域で暮らし、働く一人一人が先ずは自分の命を守るため、「強い揺れを感じたらすぐ避難」、「長い揺れを感じたらすぐ避難」、「津波に関する情報を聞いたらすぐ避難」の避難行動を実践し、すぐ避難する意識の定着と習熟を図る。

2 実施日

平成29年3月12日（日） 午前9：00～10：30

※津波対策推進旬間：平成29年3月6日（月）～3月15日（水）

3 対象地域

津波浸水域の住民、企業、津波避難協定締結企業

大東区域【5 自主防災会】	千浜東、千浜西、国浜、三浜、浜野
大須賀区域【10 自主防災会】	新井、中新井、浜、藤塚、雨垂、 沖之須、西大淵、今沢、松尾町、西田町

4 想定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、市内は震度6強から7を観測。間もなく大津波警報が発表され、掛川市海岸部で最大13mの津波が襲来する。

5 重点事項

（1）避難行動の実践

住民は、「家庭の避難計画」により、地震が起きたらすぐ避難することを徹底し、住民誰もが率先避難者となる自覚を持って避難することにより、地震発生を合図にした即時避難を実践する。

（2）避難行動要支援者等への支援体制の検証

各自主防災会は、高齢者や障害のある方に対して、個別支援計画により適切な避難支援を行うなど、避難行動要支援者等の支援体制の検証を行う。

（3）情報収集体制の検証

デジタル無線機及び地域防災無線を使用し、各自主防災会から支部、更に本部への連絡体制を確認、情報収集体制の検証を行う。

6 概要

（1）高齢者や子供も積極的に参加し、掛川市防災ガイドブック「家庭の避難計画」で決めた、避難場所等への避難の実践・検証を行う。

（2）津波浸水域の企業においては、津波対策推進旬間に従業員の避難訓練を実施。

また、津波避難協定を締結した企業においては、避難住民の受入・対応について

確認を行う。

- (3) 南消防署と静岡県消防防災航空隊が連携し、ヘリコプターにて避難住民（想定）を救出（ピックアップ）する。

(4) 連絡体制の検証

各自主防災会から、デジタル無線機により支部、更に地域防災無線による本部への連絡体制を検証する。

各自主防災会は支部へ避難状況を、10時00分までにデジタル無線機で連絡する。

自主防災会

避難場所等 → **支部** → **支所** → **本部**

(5) 津波避難点検シートによる検証

「津波避難点検シート」に記入、避難路の検証を行う。

(6) ヒナパスの活用

スマートフォンをお持ちの方は「ヒナパス」を登録し、自分がいるところから一番近い避難場所を探す。また、実際に案内表示に従い、避難を行う。

※地域の避難場所と違う場所に誘導される場合もあります。

7 訓練スケジュール

- (1) 津波警報の緊急速報メール（エリアメール）配信
スマートフォン、携帯電話・・・午前9時ころ
- (2) 緊急地震速報、震度速報、大津波警報（Jアラート）
同報無線放送・・・午前9時ころ
- (3) 大津波警報解除の同報無線放送・・・午前10時ころ

8 訓練の縮小又は中止の決定

- (1) 東海地震に関連する情報が発表された場合、直ちに訓練を中止する。
- (2) 掛川市で震度4以上の地震が発生した場合及び気象警報（大雨、洪水、暴風、高潮）が発表された場合は、直ちに被害情報の収集を行い、訓練の続行、縮小または中止を決定する。
- (3) 掛川市に津波警報、津波注意報が発表された場合及び震度5弱以上の地震が発生した場合、直ちに訓練を中止する。
- (4) その他災害事案が発生した場合、当該事案の状況により訓練を縮小または中止する。

9 その他

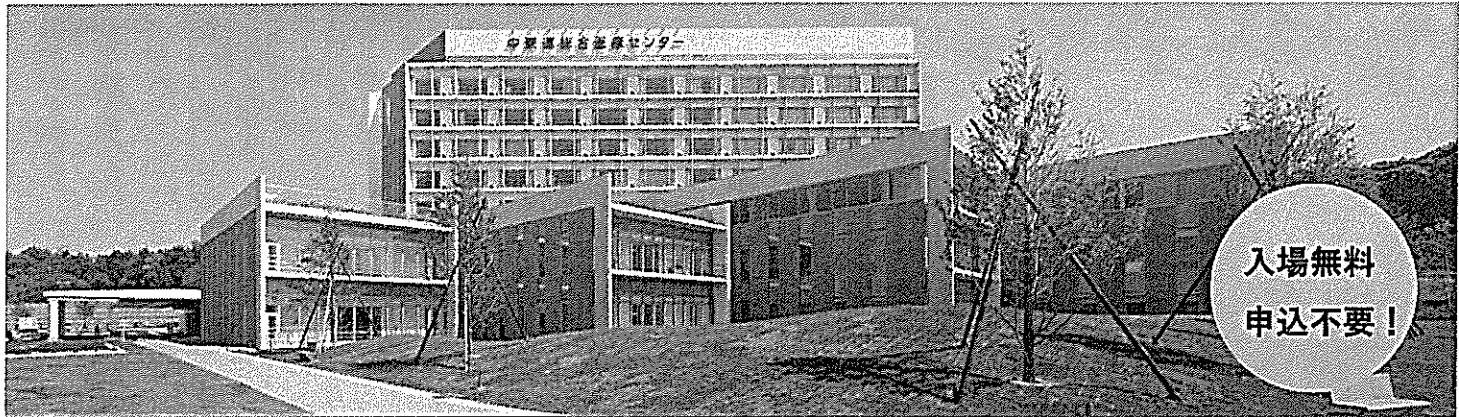
- (1) 市長、副市長等にあっては、市内各対象地域の視察を行う。
- (2) 参加予定人員 約2,800人（平成27年度参加者数）

危機管理課 防災対策係
担当：平井・山本
電話：0537-21-1131

掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター

第17回

医療市民講座



入場無料
申込不要!

平成29年 3月18日(土) 午前10時～正午

演題 ①



あなたのめまいはどんなめまい? ～内耳性めまいを中心に～

講師

耳鼻いんこう科部長

泉 智沙子 医師

演題 ②



乳がんについて

講師

外科部長

松葉 秀基 医師

会場 中東遠総合医療センター
(掛川市宮蒲ヶ池1-1)
3階 大会議室

問合せ 経営戦略室 ☎0537-21-5555 (代)

